

だざいふ 議会だより

平成29年
11/1
第153号



さいでんぬき ほ さい 斎田抜穂祭

さいでん
斎田で大切に育てられてきた稻穂を刈り取り、収穫を感謝する神事です。
毎年10月に行なわれ、今年は10月7日に催されました。

朝倉市に義援金を送りました

本年7月に発生した九州北部豪雨により、甚大な被害を受けられました朝倉市に、平成29年8月21日に太宰府市議会より義援金18万円を送りました。

太宰府市議会といましても、1日も早い復旧復興を願っております。

議会トピックス	42P
9月定例議会リポート	43P
決算特別委員会	44~45P
14人が一般質問	46~52P
行政視察報告	53P
所管調査報告	53P
地域交通に係る要望書を提出	54P
特別委員会中間報告	54P
意見交換会中止のお知らせ	54P

9月 定例議会リポート

平成29年第3回定例会を8月31日から9月26日まで、27日間の会期で開催し、報告案件9件、人事案件1件、条例の制定2件、条例の改正2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件、決算認定8件、請願1件、意見書1件、決議1件の審議を行いました。

人 事

◆太宰府市副市長の選任につき同意を求ることについて

副市長として田村幸光氏を選任したいので議会の同意を求めるもの。

不同意

主な条例

◆太宰府市景観育成地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定について

太宰府天満宮参道景観保全地区内において「付庇（つけびさし）等」がある参道景観を保全する必要が生じたため、建築基準法の制限の緩和を行うものです。

原案可決

◆太宰府市長の給与の特例に関する条例の制定について

太宰府市体育複合施設新築工事の入札に関して、平成28年6月に行われた住民監査請求に対する不適切な文書作成及びその後の第三者委員会設置に関する対応について、自らの責任を明確にするため、10月分の給与月額を、10%削減して82万7千円とするものです。

否 決

補正予算

◆一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ5億5,695万7千円を追加し、予算の総額が歳入歳出それぞれ239億4,791万8千円の補正予算案が提案されました。下記の予算案について、設置時期が適切ではないこと、配置目的や金額の根拠等が不明瞭なことから、削除する旨の修正案を提出し、歳入歳出それぞれ5億5,537万2千円を追加し、予算の総額が歳入歳出それぞれ239億4,633万3千円の修正可決となりました。

修正可決

費目	予算額	予 算 の 主 な 内 容
総務費	38万5千円を全額削除	行政改革推進費 第5次行政改革大綱策定に向けた行政改革推進委員の委員10人分の報酬と費用弁償を計上。
教育費	120万円を全額削除	学校教育運営費 外部の専門的な知識をもっている専門員1名の報酬、月20万円の6カ月分を計上。

賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

案件	議案番号	案件名	議決結果	議員名																									
				公明党	宰光			真政会	改革の会	市民ネット	新政会	共産党	小畠	堺	船越	陶山	宮原	有吉	入江	門田	笠利	上	森田	村山	徳永	長谷川	木村	神武	藤井
1	議案第57号	太宰府市長の給与の特例に関する条例の制定について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	小畠	堺	船越	陶山	宮原	有吉	入江	門田	笠利	上	森田	村山	徳永	長谷川	木村	神武	藤井
2	議案第58号	太宰府市副市長の選任につき同意を求ることについて	不同意	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	重幸	良尚	伸一	重幸	寿	直樹	毅	疆	正嗣	弘行	洋介	彰人	綾	雅之		
3	認定第1号	平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	認定第2号	平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	意見書第3号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	決議第2号	芦刈市長に対する辞職勧告決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※橋本健議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。
※全員否決の場合も掲載しております。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。

公明党 公明党太宰府市議団 改革の会 太宰府市政改革の会
新政会 太宰府新政会 市民ネット 太宰府市民ネット
共産党 共産党太宰府市議団

議会トピックス

芦刈市長に対する辞職勧告決議を可決！

平成29年第3回（9月）定例会において、芦刈市長に対し辞職勧告決議を提出、賛成多数によりこれを可決しました。

芦刈市長に対する辞職勧告決議

6月定例会最終日、問責決議が全会一致で可決され、その後議会は9月定例会において反省された市長の姿勢に注目し、新たな方針が出されることを期待した。

しかし、9月定例会直前の8月25日に不条理にも突然、副市長を解職する行動に出られ、さらに教育長をも辞めさせようとした。

市長は、8月31日の議会初日、問責決議及び副市長解職等に対する行政報告を行なったが、自己中心的で、あまりに稚拙な報告内容にあきれた次第である。

今議会において提案されている市長給料削減案は否決され、学校給食専門委員や行革推進委員の予算案も削減され、原案否決された。

これまで否決された、意図不明な機構改革案などの議案の数々について、市長は原因究明されたことがあるのか問いたい。なぜなら市長原案は、市長自らの安易な思い付きであり、庁舎内部で十分に協議されたものではなく、熟慮に欠けた、独りよがりの提案ばかりだからである。

議会では市長に対し、辞職勧告決議か不信任決議か、会派代表者会の中で連日協議を重ねてきた。太宰府市制始まって以来の出来事を市民はマスコミ報道の情報しかないと、これまでの原因が市長の資質に欠ける点が大きく、わかりにくいということ、不信任決議後、議会解散の流れになった場合、選挙費用をはじめ将来的にも大きな影響を与えることを憂慮している。それでも、我々議員は一連の経緯を正しく伝えていく努力を行い、全議員一致団結して行動していく決意である。

市長は6月議会の問責決議後、本会議場で反省の弁を述べていたにもかかわらず、その後「副市長や部長や部下のせいにするのは言語道断であり、これらのこととはまぎれもなく市長の責任である。」という文言は絶対に認められないと発言されたことに、愕然とし、憤りを禁じ得ない。口先だけの反省で、職員に謙虚に歩み寄ろうという姿勢もなく、副市長を解任したことは許し難く、この結果、市政の混乱を招いている市長の責任は極めて重い。

よって、太宰府市議会は芦刈茂市長に対し辞職を勧告し決議するものである。

平成29年9月26日

太宰府市議会

市長からの行政報告

9月定例会において、市長より行政報告がなされ、6月議会で可決された問責決議に対する見解を述べられた後、2点について説明されました。

1点目は、不適切な文書を作成した責任とその監督責任、あるいはその後の一連の経緯について、市長給与の10%1カ月の減給を行うことにより、襟を正し責任をとることとしたこと。

2点目は、8月25日付で行った副市長の解職について、その理由と経過を説明されました。6項目の解職理由を挙げられ、「このままでは改革は進まないと考え、副市長を解職することを私が決定しました。」また、「『かえよう太宰府』をかけ、市長に就任して2年と5カ月、市役所内の大きな流れの中で、このままでは変わらないと考え、政治生命をかけ今回の決意になった」と述べられました。

太宰府市の お金の使い方をチェック



Q 公共施設整備資金積立金の今後の積立計画は?

A 公共施設の維持補修に充てる基金で、将来の建物の修繕・改築に備えて積極的に積立を行います。

Q 庁舎等の新電力導入の効果は?

A 庁舎と上下水道事業センターの電気料について、1年間で約143万円の削減を見込んでいます。

Q 教育・保育施設費の内、負担金・補助金の不用額(2億4,690万円)について?

A 建て替え予定だった保育園が、諸般の事情により工事ができなくなりました。

Q 病児保育関係費(1,746万4,120円)について?

A 費用面の課題もあり、当面は現在の2箇所で実施していきます。

Q ごみ排出量の推移について?

A 市民のごみ減量の取組みにより、H28年度は229t(市民1人当たり9g)削減できました。

Q 太宰府館の管理運営費(3,262万261円)について?

A 年間、管理運営委託費等で3,000~3,200万円の歳出に対して、使用料収入で500~600万円の歳入があり、差し引き約2,500万円の一般財源がかかっています。

Q 観光推進基本計画の進捗状況について?

A 現在、素案を策定中です。11月にパブリックコメントを行い、年内中に策定完了の予定です。

Q 史跡地周辺ライトアップ事業(120万円)について?

A H28年度より照明機器を購入し、本格的に取り組んでいます。照明の色合いについては、ご意見を参考に改善していきます。

Q 梅林アスレチックスポーツ公園の改修について?

A 平成27年度、平成28年度を合わせて3,000万円の費用をかけて大型遊具の改修を行いました。

Q 特別史跡水城跡保存修理工事(1億5,233万4,000円)の整備状況について?

A 便益施設「水城館」、東門周辺の整備工事及び水城堤防の樹木整備を行いました。

Q 小・中学校の校舎の改修・整備方針について?

A 児童・生徒数の推計値を見直しながら、今後の改修計画を検討し始めたところです。

Q 総合体育館建設関係費の総括について?

A 工事費として31億1,637万円、その他経費を合わせて総額34億7,357万円でした。

Q ふるさと納税の収支について?

A 寄付額2,031万円に対して、返礼品代・業者委託料等を差し引いた845万円が実収入でした。

Q コミュニティーバス運行補助金(1億4,666万8,529円)について?

A 経費の削減と利便性の向上に向けたダイヤの見直し等、運行管理者と協議を行なう準備をしています。



●太宰府館



●ライトアップ事業



●水城館



●総合体育館



決算審査 特別委員会

平成28年度各会計の決算を認定しました

平成28年度決算特別委員会が、8月31日・9月19日・20日に開催され、一般会計、5特別会計、2公営企業会計について審査を行い、9月26日の本会議において認定・可決されました。

平成28年度 太宰府市歳入・歳出決算

単位：円

会計別	予算額	歳入		歳出		差引残額
		決算額①	執行率	決算額②	執行率	
一般会計	27,911,600,895	25,895,857,216	92.8%	24,984,677,590	89.5%	911,179,626
特別会計	国民健康保険事業	9,821,459,000	8,832,032,203	89.9%	9,053,866,445	92.2% ▲ 221,834,242
	後期高齢者医療	1,130,156,000	1,153,957,851	102.1%	1,100,765,685	97.4%
	介護保険事業	4,844,672,000	4,753,596,144	98.1%	4,644,572,649	95.9%
	住宅新築資金等貸付事業	12,311,000	28,237,696	229.4%	12,085,911	98.2%
	筑紫地区介護認定審査会事業	76,373,000	60,553,942	79.3%	60,553,942	79.3%
合計		43,796,571,895	40,724,235,052	93.0%	39,856,522,222	91.0%
						867,712,830

注①

注②

注① 一般会計の実質単年度収支は、272,316,326円の赤字でした。

注② 国民健康保険事業の赤字額221,834,242円は、翌年度予算より繰上充用を行いました。

平成28年度 公営企業会計歳入・歳出決算

単位：円

会計	科目	予算額	決算額	執行率
水道事業	収益的収入	1,464,070,000	1,455,799,345	99.4%
	収益的支出	1,227,436,000	1,183,584,653	96.4%
	収益的収支	—	272,214,692	注③
	資本的収入	6,846,000	6,760,800	98.8%
	資本的支出	519,249,000	467,457,330	90.0%
資本的収支		—	▲ 460,696,530	注④
下水道事業	収益的収入	1,859,412,000	1,854,400,168	99.7%
	収益的支出	1,477,761,000	1,451,739,492	98.2%
	収益的収支	—	402,660,676	注⑤
	資本的収入	804,944,000	598,404,300	74.3%
	資本的支出	1,692,376,000	1,469,170,860	86.8%
資本的収支		—	▲ 870,766,560	注⑥

注③

純利益は、248,829,703円(税抜き額)

注④

不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

注⑤

純利益は、382,253,015円(税抜き額)

注⑥

不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成28年度 市債・基金残高

単位：千円

区分	H27年度末	H28年度末	増減額
市債	23,856,350	24,491,090	634,740
基金	4,578,736	4,497,027	▲ 81,709



行政視察報告

総務文教常任委員会

日程：平成29年7月19日（水）～7月21日（金）

●地域課題解決ソリューション／千葉県千葉市

行政をとりまく環境の変化により職員の発案から始まった「ちばレポ」。市民と行政のチャンネル、市民と行政の協働の機会、行政運営の効率化この3項目でシステム構成を行っている。

●草加市の「子ども教育連携推進室」／埼玉県草加市

「生きる力を共に教えて育てる草加の教育」0歳から15歳までの『学び』『心』を幼保小中を一貫した教育を実践している。

●市民参加型街頭防犯ネットワークカメラ事業／千葉県松戸市

犯罪抑止に効果が高い防犯カメラ設置に取り組み、市民の協力のもと設置台数を拡大し、地域全体の防犯力をあげて安全安心のまちになることを目指している。



千葉県千葉市

環境厚生常任委員会

日程：平成29年8月21日（月）～8月23日（水）

●世田谷区子ども計画（第2期）、世田谷区保育の質ガイドラインについて／東京都世田谷区

保育需要が急増している荒川区が、その需要にこたえつつ高い保育の質を確保していくとしている。

●子どもの権利条例について／神奈川県相模原市

子どもの権利を保障するとともに、子育て支援を市の責務と表明している相模原市は、子どもの権利相談室を設け救済にも努めている。

●子どもの貧困問題等対策「あらかわシステム」について／東京都荒川区

子どもの貧困・社会排除にいたるプロセスを分析し、区の施策に活かしている。
【視察施設「ゆいの森あらかわ】



東京都荒川区

所管調査報告

建設経済常任委員会

日程：平成29年8月17日（木）

●牛頸浄水場水質センター／大野城市

太宰府市の水道水（約70%）の供給源である福岡地区水道企業団に係わる浄水場（水質センター）の現状・試験内容などについて調査を行った。

●福岡地区水道企業団海水淡水化センター／福岡市東区

福岡都市圏の渴水対策として、平成17年度に建設された施設である。海水をどのように方式で、淡水化にするのかまた取除いた塩分をどのように再び海に戻す方法等について調査を行った。



牛頸浄水場水質センター

Q 日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。



会議直前に、中学校給食は、費用的に難しいと言われ、その方向でとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

スの充実へと方向転換する事を表明するに至りました。私の公約を実現するとは反対の方向でした。私と根本的に政治姿勢が異なつていて改めて判断しました。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校給食法にのつとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

Q

多くの自治体で市民提案型と呼ばれる事業が進められ、NPOや市民グル

ープの自発的な企画を一定の審査を経て支援し、まちの活性化を図つている。そこで、太宰府市における現状とその分析について2点伺う。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

業等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

A 総務部長 ①

②第5次太宰府市総合計画において、「市民と共に考えるまちづくり」また、太宰府市自治

画において、「市民と共に創るまちづくり事業等も調査研究の実施状況等も調査研究の上、今後の課題として検討していきたいと考えています。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校給食法にのつとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

Q

多くの自治体で市民提案型と呼ばれる事業が進められ、NPOや市民グル

ープの自発的な企画を一定の審査を経て支援し、まちの活性化を図つてい

る。そこで、太宰府市における現状とその分析について2点伺う。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

A 総務部長 ①

②第5次太宰府市総合計画において、「市民と共に創るまちづくり」また、太宰府市自治

画において、「市民と共に創るまちづくり事業等も調査研究の実施状況等も調査研究の上、今後の課題として検討していきたいと考えています。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校給食法にのつとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

Q

多くの自治体で市民提案型と呼ばれる事業が進められ、NPOや市民グル

ープの自発的な企画を一定の審査を経て支援し、まちの活性化を図つてい

る。そこで、太宰府市における現状とその分析について2点伺う。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

A 総務部長 ①

②第5次太宰府市総合計画において、「市民と共に創るまちづくり」また、太宰府市自治

画において、「市民と共に創るまちづくり事業等も調査研究の実施状況等も調査研究の上、今後の課題として検討していきたいと考えています。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校給食法にのつとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

Q

多くの自治体で市民提案型と呼ばれる事業が進められ、NPOや市民グル

ープの自発的な企画を一定の審査を経て支援し、まちの活性化を図つてい

る。そこで、太宰府市における現状とその分析について2点伺う。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

A 総務部長 ①

②第5次太宰府市総合計画において、「市民と共に創るまちづくり」また、太宰府市自治

画において、「市民と共に創るまちづくり事業等も調査研究の実施状況等も調査研究の上、今後の課題として検討していきたいと考えています。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校給食法にのつとった提供方法による結果では実現が難しいとの結論に至りランチサービ

Q

多くの自治体で市民提案型と呼ばれる事業が進められ、NPOや市民グル

ープの自発的な企画を一定の審査を経て支援し、まちの活性化を図つてい

る。そこで、太宰府市における現状とその分析について2点伺う。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

A 総務部長 ①

②第5次太宰府市総合計画において、「市民と共に創るまちづくり」また、太宰府市自治

画において、「市民と共に創るまちづくり事業等も調査研究の実施状況等も調査研究の上、今後の課題として検討していきたいと考えています。

Q 地域の健康づくり事業や体育の日の行事等、主に自治会等の活

動に対する助成を中心と

して、年間70件程で金額としては約1500万円程度ですが、自発的な企

画を補助する形ではあり

ません。

Q

定例議会初日、冒頭の行政報告において、市長は、副市長を解任した理由として、6月議会の問責決議の後、大事な9月議会を前にどの様に動くのか提案がなかつた、報告・連絡・相談がなかつたなど6項目を挙げ解職理由も正当化を主張された。副市長解職の理由となり得るのか伺う。

A 市長 副市長は、4月17日の経営

会議で学校

地域交通に係る要望書を議会から市長へを提出しました



左から、船越副委員長、長谷川委員長、橋本議長、芦刈市長、井浦都市整備部長

太宰府市地域交通問題特別委員会では、これまで15回の特別委員会を開催し、平成29年9月13日に「太宰府市の地域交通に係る要望書」を議長とともに提出しました。

※上記要望書の内容については、市議会のホームページにてご覧いただけます。

ICT推進特別委員会より 中間報告を行いました

委員会では、「議会のICT化の目的、及び導入の効果、必要性」について、これまでの協議の内容について9月26日の定例会最終日において中間報告を行いました。

第4回太宰府市議会意見交換会 「中止」のお知らせ

平成29年11月19日（日）に開催を予定しておりました、太宰府市議会意見交換会は中止となりましたのでお知らせいたします。

委 委 委 委 委 委
員 員 員 員 員 員 員
員 員 員 員 員 員
員 長
議会広報委員会

堺 築利 永徳 宮原 陶木 森村
剛毅 洋介 伸尚 良彰 彰人 正嗣

（良）

議会と市長はよく車の両輪にたとえられます。しかし、今の太宰府市の現状はどうでしょうか。どうも片方の車輪がはずれかけ、まっすぐ走れない状況にあるようです。一刻も早く修理をし、市民を乗せてまっすぐ走れるようになりますが、今、議会に与えられた仕事（責任）であると感じています。

市政の正常化に向けて、私たち議員は、自ら自分の身を切る覚悟で、9月議会において市長の辞職を求めました。誇りある太宰府市について、改めて考えるためでもあります。市民の皆様にも議会の考えをご理解いただければ幸いです。

◇編集後記◇